

令和6年度 第35回日本大学薬学部学術講演会

日時：令和6年10月26日(土)9時30分～

開会挨拶 研究担当 宮坂 知宏

8号館2階 821B講義室

区分	分野	開始時刻 1人12分 入替1分	講演番号	講演者氏名	題 目	座 長
学 部	生物学系	9:35	01	薬学部 5年 野島 秀文	ミクログリア細胞株BV-2細胞におけるLipopolysaccharide誘発炎症応答にペントデシルが及ぼす影響	教授 辻 泰弘
大 学 院	生物学系	9:48	02	薬学研究科 博士1年 田中 津宮美	筋萎縮性側索硬化症モデルマウスのアストロサイトの活性化に宮古ビデンス・ピローサエキス末が及ぼす影響	
	生物学系	10:01	03	薬学研究科 博士1年 大久保 朱	ムニンシャシャンボの根から分離されたPenicillium属の未記載種	教授 小菅 康弘
	医療薬学	10:14	04	薬学研究科 博士1年 伊東 萌子	多様な患者背景に適用したバンコマイシン母集団薬物動態解析統合モデルの構築	
共同 研究 助成 金	生物学系	10:27	05	専任講師 徳田 栄一	神経変性疾患のタンパク質病理におけるエンドソームの普遍的役割の解明	
休憩時間 10:39～10:49 (10分間)						
研究 助成 推進 金	生物学系	10:49	06	准教授 和田 平	NASH発症におけるダイオキシン受容体AhRの役割の解明と肝線維化治療への応用	専任講師 鈴木 直人
研究 助成 奨励 金	生物学系	11:02	07	専任講師 木村 元気	疾患モデルマウスを用いたACOにおけるフェロトーシスの関与の解明	
一 般	化学系	11:15	08	助教 重松 花梨	金属フルオリドークラウンエーテル錯体を触媒とする加熱や攪拌を伴わないフラバノン合成	

一 般	生物学系	11 : 28	09	専任講師 田中 融	Tau mRNA と相補的な KANSL1 mRNA の 新奇 3' UTR バリエントの解析	教授 張替 直輝
	医療薬学	11 : 41	10	助教 黒崎 史大	HPLCを使用したリネゾリド未変化 体および代謝物PNU-142586の同時 測定法の開発	

閉会挨拶・優秀賞授与 研究紀要編集・学術講演会実行委員会委員長 小林 俊亮